

## エリア共通 (1) 単独工作物

| 項目          |          | No    | 基準   | 景観計画  | ガイドライン |     |
|-------------|----------|-------|--|---|--------|-----|
| (1) 単独工作物   | ① 大規模工作物 | 規模・配置 | 1  | ◎ 景観に配慮した配置とし、意匠や形態を工夫して威圧感や圧迫感を軽減しましょう。                |        | 30p |
|             |          |       | 2  | ◎ 周囲のまち並みや自然景観と調和する規模にしましょう。                            |        | 30p |
|             |          |       | 3  | ◎ 良好な眺望を阻害しないように配置しましょう。                                |        | 30p |
|             |          |       | 4  | ◎ 敷地内に資材などを堆積する際は、整然と積みましょう。                            |        | 30p |
|             |          | 意匠    | 5  | ◎ 建築物と一体に建築を行う場合は、建築物に合わせた形態、意匠としましょう。                  |        | 30p |
|             |          |       | 6  | ◎ 敷地内に隣接する建築物と意匠を合わせ、過度に目立つことのないようにしましょう。               |        | 30p |
|             |          |       | 7  | ◎ 壁面の意匠を工夫し、圧迫感を軽減しましょう。                                |        | 30p |
|             |          |       | 8  | ◎ 排気孔、階段、手すりなどの意匠は工作物全体の意匠に合わせましょう。                     |        | 30p |
|             |          |       | 9  | ◎ 耐久性の高い素材を用いましょう。                                      |        | 30p |
|             |          | 素材・色彩 | 10   | ○ 大面積での反射光のある素材の使用は控えましょう。                              |        | 30p |
|             |          |       | 11   | ◎ 落ち着いた印象となる低彩度の色彩を用いましょう。                              |        | 30p |
|             |          |       | 12   | ◎ 眺望に配慮し、質の高い緑化を行いましょう。                                 |        | 30p |
|             |          | 緑化    | 13   | ◎ 周囲に十分な植栽帯を設け、高木を用いて遮いしましょう。                           |        | 30p |
|             |          |       | 14   | ○ 人目につきやすい沿道部分では、花木の並木や花壇などをつくり、地域に良い景観を提供できるように努めましょう。 |        | 30p |
|             |          |       | 15   | ◎ 農地に面する部分は特に重点的に樹木による遮いを行いましょう。                        |        | 30p |
| ② 柱・煙突・電波塔類 | 規模・配置    | 16    | ■ 電柱、鉄塔類はできるだけ目立たないように設置すること。                                | 44p   |        |     |
|             |          | 17    | ○ できるだけ高さを低く抑えましょう。  |   | 31p    |     |
|             |          | 18    | ○ 周囲から目立ちにくい場所に設置しましょう。                                      |   | 31p    |     |
|             |          | 19    | ○ 幅を狭くし、視線を分断しないようにしましょう。                                    |   | 31p    |     |
|             |          | 20    | ・ 携帯電話の基地局は、他社との共用化を検討しましょう。                                 |   | 31p    |     |
|             | 意匠・素材    | 21    | ○ 建築物と一体に建設を行う場合は、建築物の意匠と合わせましょう。                            |   | 31p    |     |
|             |          | 22    | ○ 濃い茶色やグレーなどの目立ちにくい色彩にしましょう。                                 |   | 31p    |     |
|             |          | 23    | ○ 下部に設置する設備はむきだしにならないよう、生垣などで遮いしましょう。                        |   | 31p    |     |
|             |          | 24    | ・ アンテナ部分の形状は、できるだけ簡素な形態にしましょう。                               |   | 31p    |     |
|             |          | 25    | ■ 電柱、鉄塔類はできるだけ目立たないように設置すること。                                | 44p   |        |     |
| ③ 電気供給施設    | 電柱の設置場所  | 26    | ■ 団地開発では、電柱類はできるだけ道路側に設置しないようにするとともに、北アルプスへの眺望を阻害しないように努めよう。 | 45p   |        |     |
|             |          | 27    | ○ 眺望に配慮して電柱類を設置しましょう。  |   | 31p    |     |
|             | 電線の配線方法  | 28    | ・ 電柱類はできるだけ道路側に設置しないようにしましょう。                                |   | 31p    |     |
|             |          | 29    | ・ 南北に走る道路では北アルプスへの眺望を配慮し、東側に設置するようにしましょう。                    |   | 31p    |     |
|             |          | 30    | ・ 配線方法を工夫し、目立ちにくくしましょう。                                      |   | 31p    |     |
| ④ 太陽光発電施設   | 配置・規模    | 31    | ・ 軒下配線、裏配線などとするよう努めましょう                                      |   | 31p    |     |
|             |          | 32    | ○ 設置場所に配慮し、目立たない規模・形態としましょう。                                 |   | 31p    |     |
|             |          | 33    | ・ 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させましょう。        |   | 31p    |     |
|             |          | 34    | ・ 周辺からの視界をさえぎらないよう高さを抑えましょう。                                 |   | 31p    |     |
|             | 意匠・材料等   | 35    | ・ 太陽光パネルの向きや傾斜を揃えるなど、規則性のある配置としましょう。                         |   | 31p    |     |
|             |          | 36    | ・ 太陽光の反射を低減する対策を行いましょう。                                      |   | 31p    |     |
|             |          | 37    | ・ 敷地際では周囲からの見え方に配慮し、植栽やフェンスなどの緩衝帯を設けて、できるだけ目立たないようにしましょう。    |   | 31p    |     |
|             |          | 38    | ・ 適切な維持管理を行い、景観の保守に努めましょう。                                   |   | 31p    |     |
| ⑤ 自動販売機     | 自動販売機    | 39    | ■ 自動販売機は、壁面線より内側に設置するなど、できるだけ目立たないように配慮すること。                 | 44p   |        |     |
|             |          | 40    | ◎ 建築物の壁面に密着させるなど、できるだけ建築物と一体的に設置しましょう。                       |   | 32p    |     |
|             |          | 41    | ○ 複数台設置する場合には、前面を揃えるなど、乱雑にならないよう整然と配置しましょう。                  |   | 32p    |     |
|             |          | 42    | ○ 農地の広がる沿道への設置は極力控え、設置する場合でも、木製囲いや植栽を施し、周囲の景観との調和を図りましょう。    |   | 32p    |     |
|             |          | 43    | ・ 建築物に合わせた意匠にしましょう。  |   | 32p    |     |
|             |          | 44    | ○ 外装にけばけばしい色を用いないようにしましょう。                                   |   | 32p    |     |
| ⑥ ごみ集積所     | ごみ集積所    | 45    | ■ ごみ集積所は、景観に配慮した場所に設置すること。                                   | 44p   |        |     |
|             |          | 46    | ○ できるだけ目立ちにくい場所に設置しましょう。                                     |   | 32p    |     |
|             |          | 47    | ○ 意匠の工夫や植栽などにより、周囲の景観との調和を図りましょう。                            |   | 32p    |     |
|             |          | 48    | ○ 目立ちにくい色彩にしましょう。  |   | 32p    |     |
|             |          | 49    | ○ 耐久性の高い素材を用いましょう。   |   | 32p    |     |

### 凡例

|  |   |
|--|---|
| <p>■：景観計画に定めのある基準(遵守規準)</p> <p>□：景観計画の「公共事業における景観づくりの指針」に定めのある基準(遵守規準)<br/>⇒チェックシートでの確認が必要</p> | <p>◎：景観計画の基準と概ね同一の基準(遵守規準)</p> <p>○：景観計画の基準を具体化した基準(努力基準)<br/>⇒チェックシートでの確認が必要</p> <p>・：よりよい景観をつくるための工夫(推奨基準)<br/>⇒チェックシートの確認は任意</p> |
|--|---|

※景観計画に規定された遵守基準は計画詳細編の各ページを参照して下さい。